

## 建築工事特記仕様書

- 1 本工事は、国土交通省大臣官房庁営繕部監修平成31年度版公共建築改修工事標準仕様書及び平成31年度版公共建築工事標準仕様書に基づき施工する。
- 2 写真：着工前、竣工後の完成写真と、各工程写真を撮影すること。  
設計図及び設計書に疑問の点があれば、直ちに係員に申し出、指示をあおぐこと。
- 3 設計図及び設計書に疑問の点があれば、直ちに係員に申し出、指示をあおぐこと。
- 4 現場の取り合い、その他の変更により材料の寸法等に軽微な変更が生じる場合、それに対する金額増減はしないものとする。
- 5 図面及び設計数量は参考とし、工事すべてにわたり再調査をすると共に工法を検討し監督員の承諾を得て施工のこと。
- 6 本工事にあたっては、施工後に改修箇所の整理、清掃、後片付けを行うこと。
- 7 本工事にあたっては、関係所管部所と充分協議すると共に、施設管理者に迷惑を及ぼすことのないように施工計画をたて施工のこと。
- 8 請負者は、受注時又は変更時において工事請負額が500万円以上の工事について、工事实績情報サービス(CORINS)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事实績情報として、「工事加付」を作成し監督職員の確認を受けたうえ、受注時は契約後10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から10日以内に、完成時は工事完成後10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録しなくてはならない。  
(ただし、工事請負代金500万円以上2,500万円未満の工事については、受注・訂正時のみ登録するものとする。)  
また、(財)日本建設情報総合センター発行の「工事加付受領書」の写しを監督職員に提出しなければならない。  
尚、変更時と完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略することが出来るものとする。
- 9 発注済みである片岸公園造成工事(その3)にて浄化槽を設置するところであるが、トイレからの排水管はその3工事でおこなうこととする。また、電気設備についてもその3工事でおこなうものとするが、立地場所によって一部電気施設の工事が必要となった場合には変更対象とします。